



あったかハート推進週間の取組（6月）

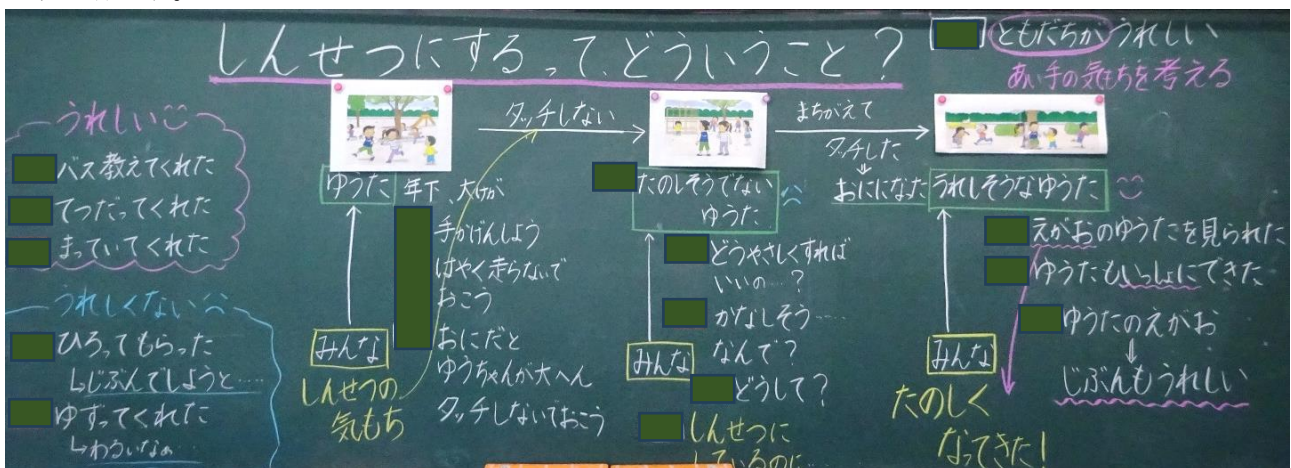
今年度も、附属小学校では子供たちに温かな心を一層育むことを重点として取り組んでいます。6月は、以下の内容で道徳科の授業を行いました。

月	期 間	内 容
6月	6/3（月）～7（金）	道徳科の授業① 内容項目：親切, 思いやり

1 実際の授業

【2年生】

2年生は「公園のおにごっこ」を読み、親切にするときにはどのようなことが大切かについて話し合いました。幼稚園に通う「ゆうた」は、一緒におにごっこをしている「しんじたち」が、自分のためにわざと遅く走ることに悩んでしまいます。一方、「しんじたち」は、「ゆうた」のためを思って行った親切が、「ゆうた」にとっては親切になっていなかったことに気づき、「ゆうた」との関わりを考え直すという内容です。



授業の振り返りでは、「親切にするということは、友達がうれしくなることだと思います」「親切にしていたつもりが、迷惑になってしまっていたことがよく分かりました」といった感想が出てきました。親切とはどういうものかについて、考えを深めていました。

2 各学年で行った授業の感想

- ・「ないちゃった」を読んで、相手のことを考えることが大切だと思いました。これからも、あったかハートで友達と遊びます。（1年生）
- ・しんじたちのように、相手の気持ちを考えて親切にしたいです。そうしないと、本当の親切にならないからです。（2年生）
- ・「ぼかぼか言葉」を読んで、心を温めてくれる言葉をつかおうと思いました。心にぐさっと刺さるとげとげ言葉だと、いろいろな人が悲しくなるからです。（3年生）
- ・「温かい言葉」を読みました。親切にした相手に「やめろ」と言われたのに、怒るのを我慢して「がんばってね」と言ったお兄さんはすごいと思いました。（4年生）
- ・「くずれ落ちた段ボール」を読んで、人に親切にしたら、その分、必ずよいことがあるのだなと思いました。（5年生）
- ・「最後のおくり物」を読みました。親切にするためには、結果的に相手はどう思うかということが大切だと分かりました。（6年生）

どの学年からも、相手の気持ちを大切にしたい行動とは何かについて、話し合いを通して考えを深める様子が見られました。今後も、子供たちに温かな心が育っていく様子をお伝えしていきます。